

平成5年度予算総額

242億9,713万2千円

ふるさとと呼べる魅力あるまちに

福祉会館と市民温水プール建設に着手

一般会計

歳出

平成5年度の一般会計予算額は、142億7000万円。前年と比べ、12億5700万円の増額、率にして9.7%の伸びとなっています。この予算額は、市民1人当たりで約26万8千円になります。

歳入

歳入(施策の財源)の主なものは、市税、地方交付税、国・府支出金、市債などです。市税は71億3000万円、全体の50%、市民1人当たりの市税は、約13万4千円になります。地方交付税は、23億1400万円、14.0%、国庫支出金は9億4689万1千円、6.6%、府支出金は4億4162万1千円で3.1%、市債は17億2420万円、12.1%となっています。



福祉会館 (完成予想図)

予算の規模

一般会計	142億7000万円
国民健康保険事業特別会計	20億7790万9千円
老人保健医療特別会計	27億280万円
下水道事業特別会計	29億9800万円
大字寺戸財産区特別会計	693万2千円
物集女財産区特別会計	1039万1千円
水道事業会計	22億3110万円
計	242億9713万2千円

特別会計

国民健康保険

国民健康保険事業特別会計では、20億7790万9千円(うち1億7780万円は一般会計からの繰入金)を計上しました。

大字寺戸財産区

大字寺戸財産区特別会計では、財産維持管理経費ならびに運営経費として、693万2千円を計上しました。

物集女財産区

物集女財産区特別会計では、財産維持管理経費ならびに運営経費として、1039万1千円を計上しました。

老人保健

老人保健医療特別会計では、65歳から69歳までの障害のある人や70歳以上のお年寄りのための医療の給付に必要な経費として、27億280万円を計上しました。

水道

水道事業会計では、収益的支出で11億9160万円、資本的支出で10億3950万円、合計22億3110万円を計上しました。

下水道

下水道事業特別会計では、29億9800万円(うち8億3300万円は一般会計からの繰入金)を計上しました。清潔で文化的なまちづくりのための公共下水道事業は、平成7年度完成に向け、平成5年度末では、整備面積540ヘクタール、整備人口約50400人となり、全市人口普及率は約95.1%となる見込みです。

魅力あるふるさとづくり

平成5年度予算施政方針

本市の平成5年度の当初予算につきましては、市長就任以来一貫して取り組んでまいりました市民本位の市政の推進を基本に、健康と福祉の向上、住みよい生活環境の整備



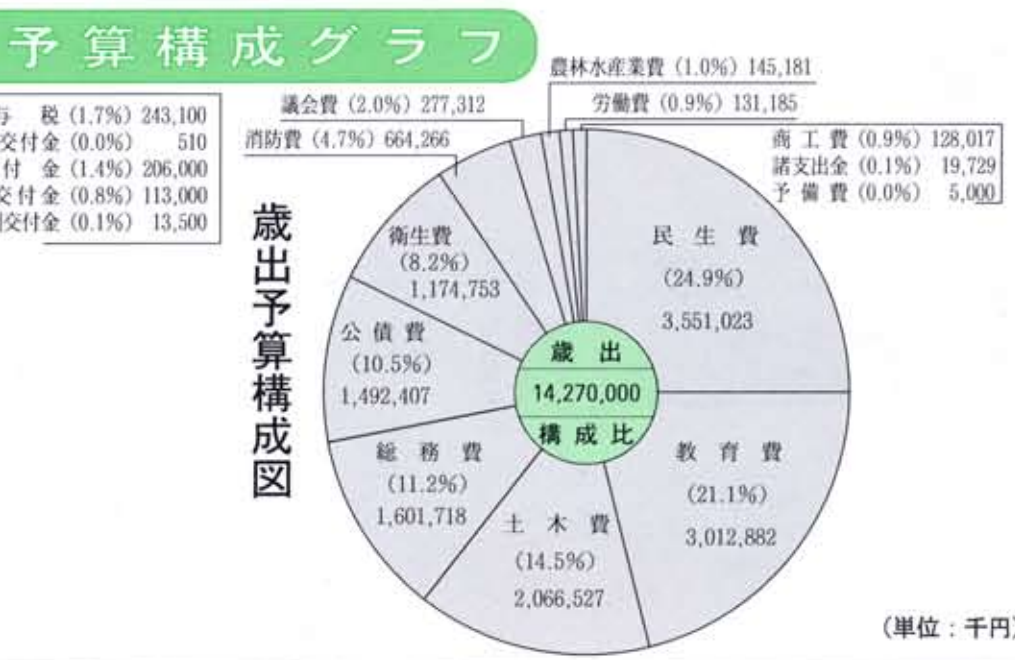
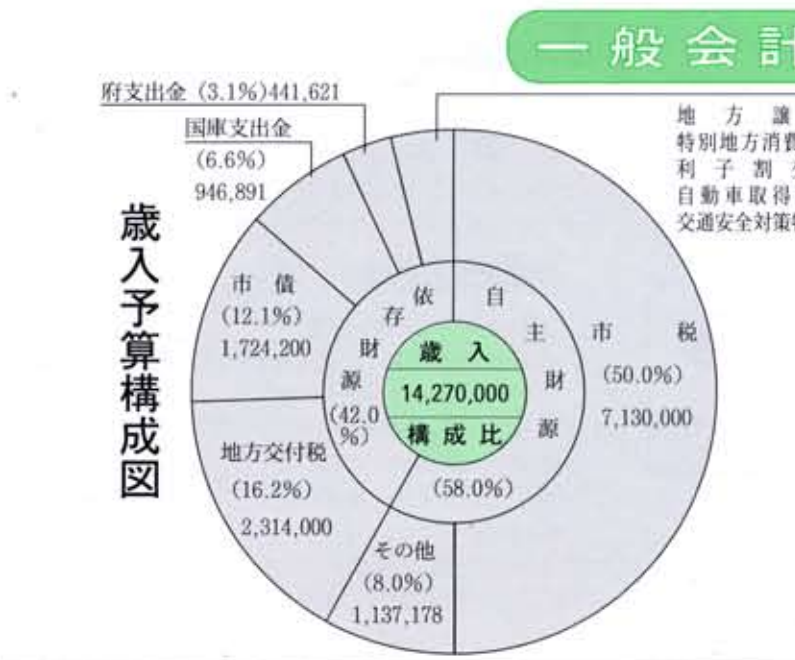
市長 秋市 民

とりわけ、平成5年度は私の市長5期目の3年目にあたりまことに、公約いたしました政策の実現に向け、決意を新たに5万市民の信託に応えられる各種施策・事業の積極的な推進に取り組んだのであります。

対策や在宅福祉サービスの充実をより図るとともに、新たに、乳幼児医療費助成、大腸ガン検診の実施、エイズ予防対策、高度救急業務に係る高規格救急車の購入さらには、福祉会館の建設着手など、福祉の一層の充実を期した次第であります。

また、快適な住環境をつくり出すため、まちづくりの根幹をなす都市基盤の整備、とくに街路、道路、水路、雨水排除計画への積極的な対応など生活関連施設の整備に努める一方、駅前周辺の再開発への計画的な取り組み、公営住宅、消防、防災施設の整備、上水の安定供給や公共下水道の促進、西ノ岡丘陵の緑の保全と整備、農業基盤整備や金融対策の充実を含む商工業の活

性化対策などの推進を図ることといたしました。さらには、心豊かな文化的なふるさとづくりのため教育環境の整備、文化施設の充実にも努めるとともに、市民温水プールの建設着手スポーツ施設の整備、鶏冠井コミュニティセンター建設に向けての取り組みにも意を注いだ次第であります。



(単位：千円)